

▽ 松田節子 教授 MATSUDA, Setsuko



学 科： 英米言語文化学科
 担当科目： 基礎演習、専門演習、日英語比較研究、第二言語習得論

写真

学歴等のプロフィール

- ①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

- ①米国インディアナ大学教育学部大学院修了
 ② 修士
 ③大学英語教育学会、第二言語習得学会、沖縄外国文学会
 ④沖縄県私学教育振興会理事、 沖縄県私立学校審議会委員

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1) 全担当科目	2010年4月～2011年 2月	事前アンケートと授業評価の実施。全ての授業、ゼミについて学期初めに独自の事前アンケートを行い、学生の英語能力（英検の所持級、TOEFL/TOIECなどの得点）、海外留学の有無、英語学習法を調べ、授業運営に活かすようにした。また、学期末にはテキスト、授業内容・方法および学生の自己評価などを含む授業評価を行い、授業改善に役立てた。
2) 基礎演習 I・II	2010年4月～2011年 2月	プレゼンテーションの実施。実施に当たっては、まず、全体的にレジユメの作成、発声、アイコンタクト、質疑応答の仕方などを指導した。続いて、各人の発表の前に個別相談の時間を設け、再度、レジユメ、資料などの作成についてチェックし、助言を与えた。また、発表後は、発表内容をレポートにまとめさせ、提出させた。レポートはコメントをつけて返却した。

<p>3) 第二言語習得論および日英語比較研究</p>	<p>2010年4月～8月 2010年9月～2011年2月</p>	<p>質問票の活用。週1回の割合で質問票を配布し、前時および本時の授業内容について質問を5つ書かせ、提出させた。その中から要点を押さえた質問を数点選び出し、次回の授業でそれらの質問についてクラスディスカッションをした。質問票は出席管理、および予習・復習の義務化を促す狙いもある。</p>
<p>2. 作成した教科書、教材</p> <p>1) 沖縄事情</p> <p>2) 英語が話せるようになりたい—英語と私</p>	<p>2009年3月</p> <p>2009年6月</p>	<p>本学の専任・非常勤日本語教育担当者などと共に、留学生用の教科書として作成し、現在に至るまで留学生関係のクラスで使用されている。本書は本文と多種多様な練習問題からなるが、本文には英訳が付いており、日本人英語学習者用の教材としても使用できる。なお、本書の出版にあたっては2009年度沖縄国際大学研究成果刊行奨励費および2008年度公益信託宇流麻学術研究助成基金の助成を受けた。</p> <p>本書は英語の学習法に悩む学生のために作成したものである。自身の英語学習履歴と、外国語学習成功者研究から得られる知見とを絡めながら、効果的な英語学習法を紹介しようとするものである。</p>
<p>3. 学生支援活動</p> <p>1) 留学相談</p>	<p>2008年～2011年現在</p>	<p>10数名の学生から留学相談を受け、留学先の選定、手続き、留学前・留学中・留学後の英語学習について助言をした。</p>

研究業績

【 主要論文及び主要著書 】

論文：

「『国際語』としての英語の習得と教授について」平成15年3月『沖縄国際大学外国語研究』
Vol.16, No.2

「本学の英語教育についての予備的調査研究」平成16年3月『沖縄国際大学外国語研究』
Vol.7, No.1

「なぜ英語能力が伸びないのか」平成18年1月『沖縄国際大学外国語研究』Vol.18, No.1

「英語学習にたいする態度の変化について—沖縄国際大学英米言語文化専攻学生の場合」
平成22年3月 『沖縄国際大学外国語研究』Vol.13, No.2

著書(教科書・教材)：

『沖縄事情』(共著) 平成21年3月 沖縄国際大学語学教育教材開発研究会

『英語が話せるようになりたい！—英語と私—』平成21年6月 沖縄国際大学語学教育教材
開発研究会

研究分野

第二言語習得、国際語としての英語、バイリンガル教育

【Eメール・ホームページ等】

smatsuda@okiu.ac.jp

平成23年10月7日現在